

# 耳・鼻に入ったものがとれない

子どもは1歳を過ぎると、いろいろな物に興味を示し、なんでも口に入れようとします。

2歳ごろになると、耳や鼻の中に自分で入れてしまったり、

きょうだいがいたずらで入れてしまい取れなくなってしまうことがあります。

本人が入れてしまったことを言い出せなかったり、忘れてしまったりして、発見が遅くなることもあります。

耳であれば、耳垂れや出血、痛みなどが、鼻であれば片側からの臭いがする鼻水や、鼻詰まりや、鼻血が長く続くことなどがあれば受診を検討しましょう。



## 応急処置のポイント

まず

落ち着いて、**入れてしまったものや時間など、**  
わかる範囲で聞き出してください

この際、**子どもを責めることがないように**  
配慮してあげてください



### 鼻

医療機関を受診

- ✓ 無理にとろうとしない
- ✓ 鼻をかませない
- ✓ 受診



鼻に入れたものは無理に自宅で取ろうとせず受診をしてください。また、鼻をかませると逆に吸い込んでしまうことがあります。

### 耳

医療機関を受診

**ボタン電池・ネオジム磁石**  
**鋭利なもの・生きた虫**

→ **速やかに受診**

**玩具(BB弾・ビーズなど)**

→ **日中に受診**

耳に入れたものが、ボタン電池やネオジム磁石、鋭利なもの、生きた虫であれば速やかに受診してください。BB弾やビーズなどの玩具であれば、日中に耳鼻科を受診しましょう。



受診の際は、**入れてしまったものと同じものがあれば持参してください。**

## 家庭での事故(傷害)予防のポイント

6歳以下のこどもには、  
耳や鼻に入るサイズのものを与えないようにしましょう



## 実際にあった事例 複数個の磁石による鼻腔粘膜損傷 Injury Alert No.78

10歳男児がネオジム磁石を鼻に入れて遊んでいたところ、両鼻に入れてしまい、間の仕切り(鼻中隔)を挟んで接着してしまった。自力で取り外すことができず、2時間が経過して痛みが強くなりため、医療機関を受診。接着を解除し除去することができ、大事には至らなかった。

主治医からの  
ひとこと